

# みんなの学校

令和6年度  
蒲郡中学校区  
「学校運営協議会」だより  
第3号  
令和7年3月発行

—地域とともにある学校づくり・まちづくり—

## 令和7年度 学校経営方針 承認

2月15日(土)10:00から、蒲郡中学校多目的教室において「第3回蒲郡中学校区学校運営協議会」が開催されました。

### 【伊藤代表校長あいさつ】

蒲中学区子どもサミットを開催し、四校一斉あいさつ運動へつなげることができ、『学校運営協議会』と『子どもサミット』の両輪で地域を盛り上げることができた。

蒲中学区コミュニティスクール9年間での目指す子どもの姿が「蒲郡中学校3年生の姿」となった。各行事など事ある機会に中学生の姿を学区の小学生に見せることが大切であると感じている。

### 【経過報告】蒲中学区あいさつ運動について

12月23日に第2回子どもサミットが行われ、蒲中学区四校一斉あいさつ運動の協議と『あいさつの活性化』をテーマに熟議が行われた。熟議を通して、①あいさつ運動の回数を増やしたい。②朝の放送で運動の様子を伝えたい。③あいさつ運動をあいさつ週間をしたい。④朝の元気は朝食から！朝ご飯チェックシートを行いたい。等の考えが出された。

1月20日(月)と23日(木)の朝8:00から8:15に、蒲中校区の通学路7カ所で小中学生とあいさつ協力隊(延べ152名)が参加をしてあいさつ運動をおこなった。

### 【第3回学校運営協議会】

- 1 はじめのことば
- 2 会長あいさつ
- 3 代表校長あいさつ
- 4 経過報告
- 5 協議  
(1)「学教評価アンケート」について  
(2)令和7年度学校経営方針について
- 6 熟議「情報モラルについて、  
学校・家庭・地域でできること」
- 7 連絡  
(1)蒲中学区カリキュラムマップ  
(2)がまん食堂について  
(3)お礼とR7年度委員について  
(4)その他
- 8 おわりのことば



【伊藤代表校長】

### 【あいさつを終えた子どもたちの感想】

- バッチをつけてくれた地域の人の名前を覚えることができ、仲良くなれてよかった。
- バッチをつけた地域の人に親近感がわいてあいさつや話がよりしやすくなりました。
- 中学生がずっと笑顔であいさつをしていて、私も笑顔を大切にしたいと思いました。
- あいさつは、するほうもされるほうも心が気持ちよくなると思いました。
- 駅で行った時に、通勤中の忙しい中、笑顔であいさつを返してくれたことや、外国の方が慣れない日本語であいさつを返してくれたことが印象に残りました。



蒲郡中学校『キ・カ・ク サークル』(2年生が約50人参加)の新しい取り組みとして、「学区の掃除をしながらあいさつ運動をしてみたい」という声があがり、今年度中に実施し、その後は小学校や地域とも連携をしながらあいさつの輪を広げていきたいと考えている。

### 【協議】学校評価アンケートについて

竹島小学校柴田校長より、各学校の学校評価アンケートについて、保護者、児童生徒の結果と分析について報告されました。特筆する部分は、あいさつや、地域との連携などで肯定的な回答は同じくらいだが、A「あてはまる」の割合が下がっているものがあり、

- ① 学校からの活動の様子をより具体的に情報発信することと、保護者・地域との連携強化
- ② 質問項目について、保護者のとらえ方に差があることも想定されるため、質問内容や意図がより正確に伝わるように検討の必要がある。等の課題も見えてきました。

### 【学校評価アンケート結果についての質疑・応答】

- Q.全体アンケートの結果の中で「学校が楽しくない」という子が約1割いる。これに対してどう考えているのか。
- A.教育相談で一人一人の悩みを把握し、担任のアンテナを高くて子どもたちの友達関係、学習面などの悩みなど捉える努力をしたい。
- Q.蒲南小はコミュニケーションでのトラブルが解消するというでなかよし登校に取り組まれているのか。
- A.登校によるトラブルは減った。さらに、なかよし登校において一人登校の子ができないように声をかけたり通学団会で一緒に来る子の確認をしている。
- Q.[自分によいところがある]という質問で小学校より中学校の方が減っているのはどう捉えているのか。
- A.中学生の心の発達段階において自分はどのように思われているのか、自分はどうなりたいかなどだんだん見えてくる。自分のよいところや悪いところが見えるようになる中で、伸ばしたいところや大切にしたいところを今後自分のキャリア形成をしていく。その中の変化の一つかなど捉えている。

### 【協議】令和7年度 各学校経営方針について

各学校の令和7年度 学校経営方針が今年度の成果と課題をふまえ、蒲郡中学区が目指す「子どもの姿」に向けて具体的な取り組みを付け加えて作成され、提案されました。

また、9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムマップを作成し、より小中一貫した教育を目指していきます。

### 【学校運営基本方針についての質疑・応答】

- Q.(蒲南小)PDCAを回すとき、会社ではポイント制にして数値化したりするが、学校ではどのようにPDCAを回すのか。
- A.定性的に判断している。また、保護者アンケートや児童アンケートを参考にしている。
- Q.(蒲東小)コミュニティルームについて安全面はどう対応するか。
- A.まだ計画段階だが、時間帯を設定したり、来る人の確認をしたり、安全面は配慮していきたい。そこで何かを発表をするときは地域や公民館に情報を発信するようにしていく。
- ・蒲南小もコミュニティハウスを実施していきたい。学校が楽しくないと答えている子が1割ほどいる。そのような子たちの居場所になるとよい。何か得意なもので地域の人が子どもと交流できたら嬉しい。
  - ・アンケート項目10番が9割近くまで伸びた。(以前は5割ほどだった)地域とかかわる活動を増やしていった成果である。学校経営の中に地域とふれあう活動を増やしていくとこの数値がさらに上がる。

### 【熟議】情報モラルについて、学校・家庭・地域でできること

熟議では、近年多発しているSNSでのトラブルなどからどの学校でも問題意識を持っている「情報モラル」について、学校ごとに分かれて、現状を伝えながら、学校・家庭・地域でできることを話し合いました。

### 【各学校ごとのまとめより】

- 子どもの周りにあるトラブル、危険性、具体的な事例について情報を保護者や地域が知ることで、子どもの変化を見逃さず早期の対応が可能になる。
- 親世代が日常から子どもたちとのコミュニケーションの場を大切にする。(食事での会話、スマホ、テレビを切る。)
- スマホの画面にはない、リアルな体験・楽しさを学校や地域で味わわせる。
- 警察や企業、専門機関と連携し、最新の情報や正しい使い方を大人も子どもも知る機会を増やしていく。
- 子ども同士が連想ワークショップなど、知って自分たちで考える。それを周りや地域へ発信したり、地域の方に教えたりしながらコミュニケーションを深めることもできるとよい。
- 大人がどれだけ手本になれるかが重要。



### 【まとめ】廣中会長より

校長先生や教頭先生の説明の内容やみなさまのご意見から、この会が以前と比べて進化してきている。資料からも子どもサミットが充実しリーダーが育ってきていることがわかる。この一年二年を経て素晴らしい形として成長している。今後も多方面からの様々なご意見をいただいて、さらに蒲中学区学校運営協議会が進化できるように協力ができたらと思う。

以上、第3回協議会の概要でした。



【廣中会長】

※本文中の学校評価アンケート結果や、学校運営基本方針は各学校のホームページから詳細をご確認ください。